

📺 ライブ配信
📺 オンデマンド配信

自動物流道路の取組と方向性

開催内容

国土交通省では、「高規格道路ネットワークのあり方中間とりまとめ」の提言を受け、物流危機やカーボンニュートラルなどへの対応のため、新たな物流形態として自動物流道路の実現に向けた検討を進めています。本講演では、自動物流道路の構築をテーマとして、物流業界の現状、検討の背景及び7月に公表した自動物流道路のあり方中間とりまとめを受けた現在の検討の状況についてそれぞれ専門家から、ご講演いただきます。

プログラム

日程：2月21日（金） 13:15～15:15
オンデマンド配信：3月1日～3月31日

■ 参加費
日本道路協会
会員 2,000円
非会員 4,000円

▶ 物流危機の現状と自動物流道路への期待

講師：北條 英 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 理事
JILS総合研究所 所長



1989年（株）日本能率協会総合研究所 社会環境研究所。
2002年（社）日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所。
2023年 経済産業省・国土交通省・農林水産省 持続可能な物流の実現に向けた検討会委員。
2024年2月～国土交通省自動物流道路に関する検討会委員等。
物流、ロジスティクスに係る調査研究に従事。

我が国の物流は、構造的なトラックドライバー不足のなかで、2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の上限規制が適用され、これまでのようには荷物を運べなくなるいわゆる「物流の2024年問題」（物流危機）に直面している。物流危機に陥った背景やドライバー労働規制強化後の物流の状況等を概説したうえで、自動物流道路への期待と課題を述べる。

▶ 自動物流道路の構築に向けた検討の状況

講師：遠藤 由梨 国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室 企画専門官



2014年国土交通省入省。
港湾局総務課課長補佐、海上保安庁総務部政務課企画調整官、森昌文内閣総理大臣補佐官付秘書官を経て、2024年から現職。現在は、自動物流道路等の物流施策に関する業務を担当。

自動物流道路の検討の背景、7月に公表した自動物流道路のあり方中間とりまとめ、令和6年10月に実施した事業スキームに関するサウンディング調査の結果等、今後の検討の方向性について概説する。

申し込み方法

本参加を希望される方は、当協会ホームページの参加申込フォームからお申し込みください。
講習会にご参加頂いた方には、今後のセミナー内容や開催方法等に関するニーズを把握するためのアンケート調査にご協力いただきますので、よろしくお願いいたします。



お知らせ



本セミナーはCPD制度の認定セミナーとなっており、土木技術者の皆様の知識向上や自己研鑽の証跡となるCPD単位が取得可能です。